

令和元年度 文教厚生常任委員会 視察研修報告

期 日 令和元年 8 月 22 日（木）～23 日（金）
視 察 先 島根県隠岐の島町・出雲市
出 席 者 委員長 福田定道、副委員長 井戸 亨
委 員 佐曾利敏、渡邊圭太
帯同職員 澤野教育課長、日比野住民課長
亀山議会事務局長
視察項目 「子ども議会（中学生議会）について」
「町民スポーツ、レクリエーションの振興について」
「窓口ワンストップ業務について」
報 告 者 委員長 福田定道

文教厚生常任委員会は、議会をより身近に感じられる契機となり子ども達に議会の仕組みや役割を学んでもらえるよう、子ども議会の開催を検討しています。そして毎年開催される町民スポーツを活性化させる方法を模索しています。さらに来庁された町民のため、よりスムーズな行政手続きを行うことができる窓口ワンストップ業務を推進しています。そこで、これらの取組みを実行している先進自治体の各取組みを参考とするため、島根県隠岐の島町・出雲市へ視察研修を行いました。

隠岐の島町では、平成 26 年度から町の中学 3 年生を対象として子ども議会を授業の一つとして取り組んでいます。子どもが議員となり子どもの視点による町の問題点を町執行部に投げかけているそうです。実施に向けて、教育委員会・役場・議会・中学校がそれぞれ事前学習・事前準備・リハーサル・当日の議会・事後のまとめ等役割を分担し



ています。提言が実現しているものもいくつかあり、中学生の意欲に繋がっている等の評判もありますが、テーマや提言づくりが今後の課題としてあげられています。町民スポーツ、レクリエーションの振興に関して隠岐の島町では、生涯スポーツ推進のための人材育成に力をいれており、スポーツ推進委員の研修と組織強化・社会体育団体の育成及び活動支援が充実しています。そのため町体育協会が主催する年間15競技ものスポーツ事業が開催されています。すべての町民が競技に参加しているわけではありませんが、各競技団体と共に開催を盛り上げるサポーターとして携わっているとのことでした。



出雲市では平成24年から市内14校の生徒代表（各校2名）が集まり中学生議会を開催しています。将来を担う子ども達が市政を学ぶと共に、市政等に関して意見表明をする場として、また、子どもたちの意見を行政運営に反映する場となっていました。議会当日に向けて事前勉強会を実施し、議場の見学・市政のテーマに関して市の担当課が説明を行っているとのことでした。参加した子ども達からの評判も良く、市政を知る良い機会になっています。ワンストップ業務は、死亡にかかる手続きの業務に関して行っています。窓口を市民課に設置し、申請書作成ツールを業者に委託せず職員が作成したとのことでした。システムを構築したことで申請書に記入する手間が簡素化され、申請者の負担軽減に繋がっています。

今回視察した両市町とも、子ども議会を行うことで子ども達の「町に住む一員として将来を担う意識」を高めることに成功しています。これも立派なふるさと教育であるため、富加町にも取り入れ

ていきたいと考えています。そして、より町議会を身近に感じてもらうために議会が積極的に関与していきたいと思います。スポーツ振興に関しては、誰もがいつでもそれぞれのライフステージの中でスポーツを楽しめる環境を創設していかなければならないと思い、住民の健康増進と交流の場づくりを推進していきます。ワンストップ業務に関しては、現在富加町におきましても住民課が窓口となり、各課の協力により手続きを完了させることができています。今回の視察により、申請書のシステムを構築することでまだまだ窓口業務の簡素化・申請者の作業負担の軽減が見込めることが分かりました。今後もできることを検討し、町民の皆様のためになる行政サービスができればと強く思いました。